

新入社員に求める組込み技術知識と人物像

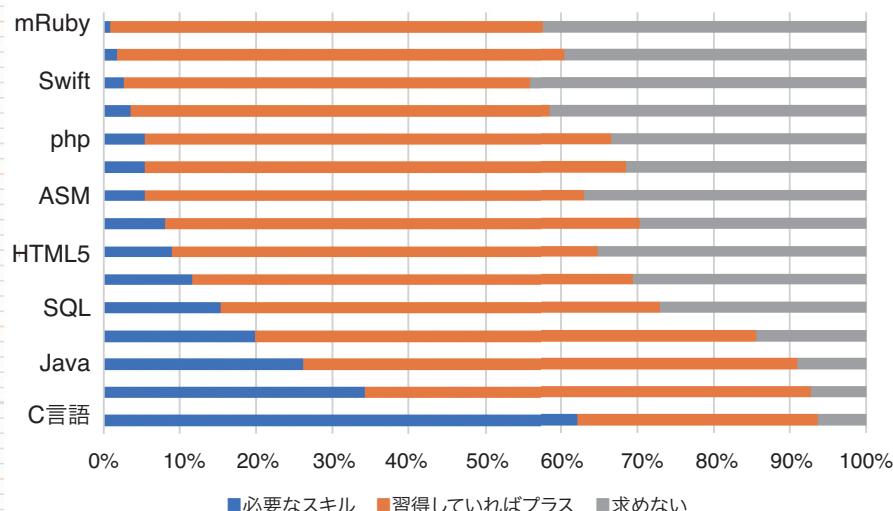
調査報告 2017年度版より –JASA研修委員会–

新入社員に対し、企業が入社時点に持っていてほしいとする技術知識の調査アンケートから一部をご紹介します。

●アンケートの実施方法…実施時期:2017年9月 JASA会員(組込みシステム開発企業)にWebでアンケートを実施

詳細は本URLよりご参照ください。 http://www.jasa.or.jp/TOP/download/training-project/Required_Skill_New_Graduates_2017FY.pdf

●言語スキル



「C言語」が他言語に比較して例年通り高い支持を得ただけでなく、上位6言語の要求の高さは、ここ数年変わっていない。

特に「C言語」は「必要なスキル」として唯一60%を超えており、言語スキルとしては、依然として高い要求度を示している。開発対象にかかわらず、組込み開発の基本言語知識として、「C言語」を入社の時点からある程度使いこなせるレベルを期待されていることがうかがえる。

いずれの言語についても「必要なスキル」「習得していればプラス」を合計すると50%以上あり、何らかの「言語スキル」は企業側でも期待していることがうかがえる。

●「必要なスキル」回答ランキング

(上位10項目)

1	OS操作 Windows	91
2	表計算系	77
3	ワープロ系	72
4	C言語	69
5	OS知識 Windows	54
6	フローチャート	51
7	プレゼンテーション系	45
8	単体テスト	41
9	TCP/IP	40
10	C++	38

●「必要なスキル」+「習得していればプラス」回答ランキング

(上位10項目)

1	表計算系	110
2	OS操作 Windows	109
3	ワープロ系	109
4	プレゼンテーション系	107
5	OS知識 Windows	105
6	C言語	104
7	OS知識 Linux	104
8	オブジェクト指向	104
9	フローチャート	104
10	シーケンス図	104

昨年度の調査と同様に、企業が入社時点で「必要なスキル」であることを期待している項目の上位は、「Office系ツールの操作」、「Windowsの操作」、「C言語」、「フローチャート」となった。フローチャートを利用した論理的な思考の整理と「C言語」によるアルゴリズムやロジックの表現というスキル、加えて一連の開発作業を企業組織の一員として実践していく中で必要なコミュニケーションスキルと、これらを可視化するWindows上のOffice系ツールの操

作スキルについて、企業側が一定のレベルを求めている、という基本姿勢に変わりはないことがうかがえる。

また、「必要なスキル」の「TCP/IP」「C++」や「必要なスキル+習得していればプラス」の「オブジェクト指向」「シーケンス図」など、新卒者でもIoT等に関連する通信関連の知識や論理的思考が求められていることがうかがえる。また「プレゼンテーション系」がランキングに入っていることは、説明するための表現力も一定のレベル

を求めていると言える。

今後、人材の育成と活用については、こうした実状を認識した上で、企業側、学校・教育機関側双方が協力して解決策を見出していくことが望ましいものと思われる。

本報告書が、JASA会員企業にとって、採用機会の創出、新卒者に対する社内育成の指標、他方、学校・教育機関等にとって教育カリキュラム等を検討する上での参考になれば、委員一同望外の喜びである。